

2019

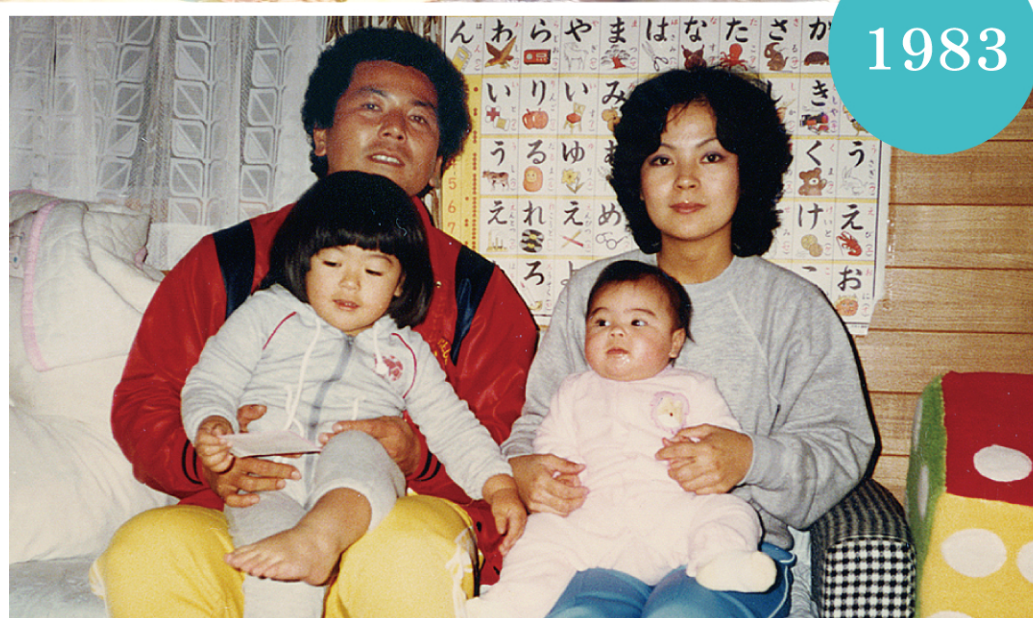
いつでも家族で団結！

川上家（北谷町）



▲アルバムを見ながら会話が弾む川上家の4人。左から長女の稚恵さん、智子さん、優さん、次女の晃奈さん。アルバムは娘たちの成長記録として智子さんがこまめに整理していたよう

▶1983年、次女の晃奈さんが生まれた年に撮影した家族写真。当時は読谷村に住んでいた



家

族そろって「わー、久しぶりに見た」とアルバムをめくる川上家（北谷町）。「一度開くと見入ってしまうんだよね」と川上智子さん（60）は話し、夫と2人の娘の顔を覗き込む。「35年前の写真は懐かしい。キャンプや旅行など、思い出はたくさん。夫の事業も家族で支えてきた。団結できることが

うれしい」と笑顔を見せる。娘たちが小学生の頃は、何度もキャンプをしたといい、「カセットコンロや、炊いたご飯を炊飯器ごと持って行った」と記憶をたどる。長女の慶田盛稚恵（37）さんは「 TENT を立てるのが大変だった。父と母がいろいろな経験をさせてくれたから、今は自分の子に同じよう

にしてあげたいと思う」のだそう。次女の晃奈さん（35）は「自宅の庭に敷き詰める石を海に拾いに行ったのも思い出。朝5時に起こされたんだよね」と笑う。夫の優さんは住宅の新築やリフォームなどを手掛ける建築会社「ラムハウジング」の代表で、智子さんは経理全般を担当。「完成見学会の

こんな写真も！



長女（右）と次女を膝に乗せる夫の優さん

時は、学生だった娘たちも手伝ってくれて、お客さんの対応をした」という。

現在は次女が建築士や福祉住環境コーディネーターの資格を取得。夫の右腕として事業を支えており、長女もイベント時には手伝いに来るなど、団結力は変わらず。

◆ ◆ ◆
「一番のピンチは、30年程前に夫が勤めていた会社が倒産したこと」と智子さん。役員を務めていた夫には2億円の借金が残った。「一つのアイスクャンディを4人で食べたこともある。けど、娘たちは文句を言わずに協力してくれた。」

貧しくても苦ではなかった。楽しかったな」と懐かしむ。

また、優さんは「昨年無事に完済できたのは仕事があったから。私を信頼して仕事を依頼してくれた方々に感謝している」と語る。

二人の娘も親になり、孫は4人にとぎやかになった。今後の目標を聞くと、「2世帯住宅を建てる予定！とても楽しみ」とのこと。事業も次女に引き継ぐ準備をしており、「これからみんなで支え合いながら」と家族で顔を見合わせた。

突き出し広告